



# 特集 地域を守る！消防団

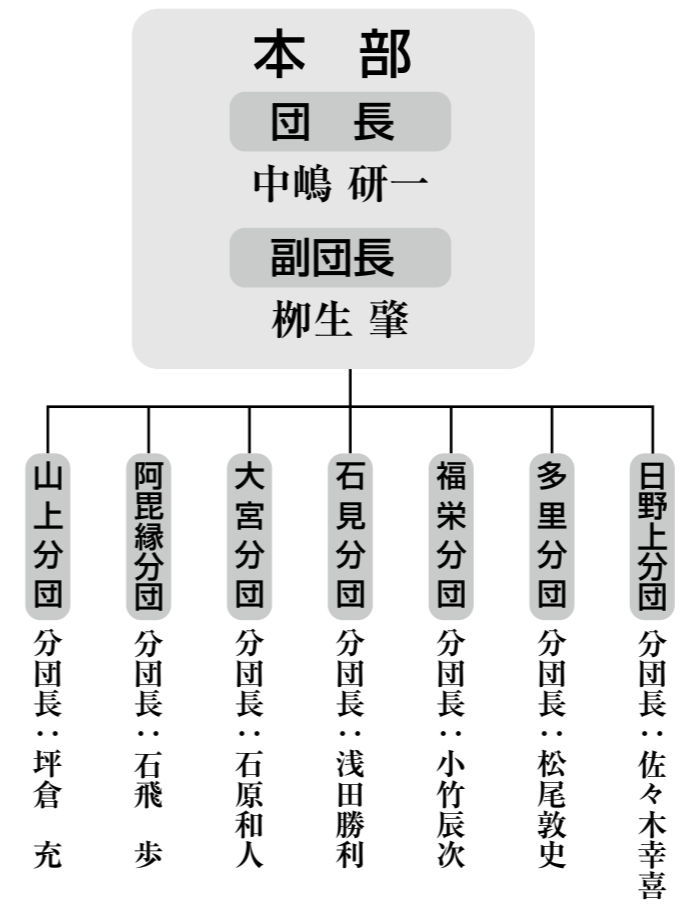
## 消防団とは？

消防団は、消防組織法に基づいて各市町村に設置される消防機関です。消防署は専門的に消防活動などを行う常勤職員による機関であるのに対し、消防団は本業を別に持つ一般の住民で構成されており、消防団員は非常勤特別職の地方公務員です。消防団は、言わば「二足のわらじ」の活動です。

火災・風水害・震災などの有事の際に消防活動を行うほか、火災や災害の発生を未然に防ぐため、啓発活動や広報活動などを行うのが消防団の仕事です。



## 日南町消防団組織図



## 消防団の現状

近年、全国的に消防団員数が減少しており、団員確保が大きな課題となっています。日南町消防団においても近年欠員が生じている現状で、「町内居住者での団員確保が難しい」「定年により辞めなければならぬが、入団者がいない」との意見を聞き、今年4月から住所要件の緩和（町内居住者から、町内居住者または勤務者に変更）と年齢制限の撤廃（60歳の定年を廃止）を行いました。

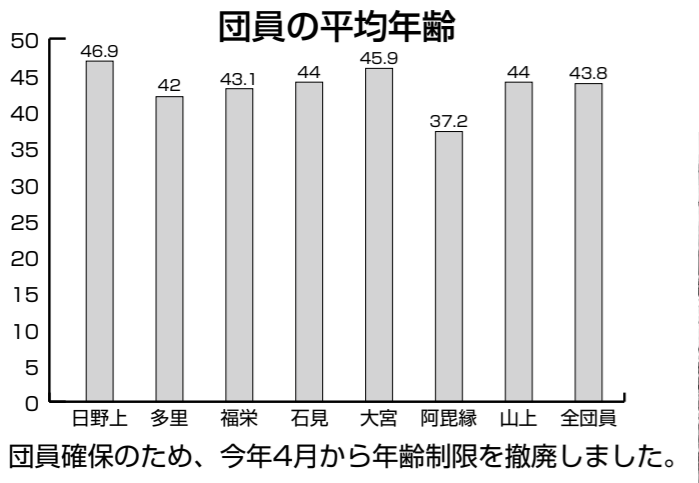
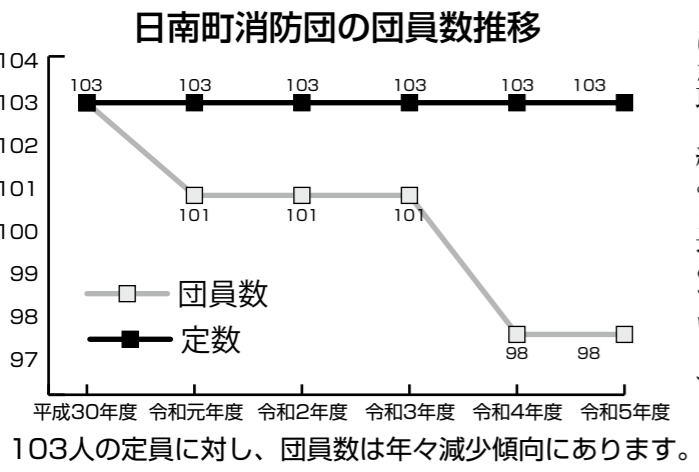
また、国が立ち上げた「消防団員の処遇等に関するあり方検討会」において示された処遇改善方針をもとに、標準的な報酬額の引き上げを行うなど、消防団員確保に向けた取り組みを進めています。



## 消防団の重要性

鳥取県西部地区の常備消防は、鳥取県西部広域行政管理組合消防局の約300人の職員が担っています。このうち日南町にある江府消防署生山出張所は、消防職員14人が配置され、4人ずつ交代で24時間即応体制を維持し、火災・救助・救急などの業務を行っています。しかし、火災や大規模な災害が発生したとき、この4人でそのすべてに対応することはできません。また、町内1ヶ所の出張所から出動するため、災害現場によっては到着まで時間がかかる場合があります。

日南町消防団は地元に通じた約100人の消防団員が、町内7つの分団に分散して配置されています。このため、消防団は町内のどこで災害が起こっても速やかな対応ができるほか、多様な職種の人たちで構成されていることから、様々な専門知識や技能があり、幅広い災害対応が可能です。



これは、水防訓練の様子です。近年各地で発生している豪雨などによる災害を未然に防止し、被害を最小限にするためにも、消防団は重要な役割を担っています。このように、消防団は火災だけでなく様々な災害に対応しています。

職業構成	公務員	
	国家公務員	0
	地方公務員	12
	特殊法人等公務員に準ずる職員	7
	日本郵政グループ	4
その他	75	

就業形態	被用者	
	被用者	87
	自営業者	11
家族従業者	0	

「被用者」とは、誰かに雇われている人のこと。つまり、サラリーマンのことです。日南町消防団は、団員の約9割が被用者です。